

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第22週)

宮城県【平成26年06月05日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

— 2014.5.26 ~ 6.1 ・ 第22週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第19週	第20週	第21週	第22週		
水痘	14 2.80	2 0.20	3 0.60		7 2.33	3 0.60	1 0.50	21 0.81	51 0.88	1,004	○ →	○ →	○ →	○		
流行性耳下腺炎			1 0.20	1 0.50	2 0.67			18 0.69	22 0.38	269	→	→	→			
百日咳											→	→	→			
感染性胃腸炎	29 5.80	71 7.10	16 3.20	31 15.50	25 8.33	77 15.40	20 10.00	286 11.00	555 9.57	11,251	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
手足口病		1 0.10						1 0.04	2 0.03	28	→	→	→			
伝染性紅斑	3 0.60	7 0.70	20 4.00	8 4.00	2 0.67	10 2.00	1 0.50	29 1.12	80 1.38	853	○ →	○ →	○ →	○		
突発性発しん	4 0.80	6 0.60	5 1.00	3 1.50	3 1.00	4 0.80	1 0.50	29 1.12	55 0.95	768	○ →	○ →	○ →	○		
ヘルパンギーナ		4 0.40							4 0.07	13	→	→	→			
インフルエンザ	10 1.25	9 0.60	1 0.13	6 2.00	2 0.40	3 0.38	4 1.00	35 0.38	28,875	◎ →	◎ →	○ →	レ			
咽頭結膜熱	2 0.40		1 0.20	1 0.50	2 0.67			14 0.54	20 0.34	236	→	→	→			
流行性角結膜炎		3 1.00						6 1.00	9 0.75	57	→	→	→			
急性出血性結膜炎											→	→	→			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15 3.00	22 2.20	3 0.60	3 1.50	13 4.33	34 6.80	4 2.00	61 2.35	155 2.67	2,977	◎ →	◎ →	◎ →	◎		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→			
無菌性髄膜炎											→	→	→			
マイコプラズマ肺炎		1 1.00	2 2.00	2 2.00	1 1.00		3 3.00	3 0.60	12 1.00	194	→	→	→			
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→			
RSウイルス感染症		1 0.10	1 0.20					5 0.19	7 0.12	304	→	→	→			
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	3	2		5	3	3	12	194	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病	2	1								【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/</a>					
	不明発疹症						3				49					
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※										49					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## 今週の全数報告疾病

1類感染症: 報告なし	※男児、女兒は6歳未満
2類感染症: 結核	
仙南管内	男性1名
塩釜管内	男性2名
大崎管内	女性2名
石巻管内	男性1名
気仙沼管内	男性1名(第20週)、女兒*1名(第21週)
仙台管内	男性3名、女性1名
3類感染症: 報告なし	
4類感染症: 報告なし	
5類感染症: アメーバ赤痢	
仙台管内	男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症	
仙台管内	男性1名(第21週)、女兒*1名、女性1名

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

### 今週の感染症のコメント

#### — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

[感染性胃腸炎]

栗原管内で警報継続中。

[伝染性紅斑]

栗原、石巻管内で警報継続中。

大崎管内で警報値を超えた。

### 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より

栗原管内 第22週採取分 ノロウイルスGⅡ 1件

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第18週採取分 A群ロタウイルス 1件

第19週採取分 ノロウイルスGⅡ 2件

第20週採取分 アデノウイルス41型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

第20週採取分 第21週採取分 第22週採取分

(5.12～5.18) (5.19～5.25) (5.26～6.1)

インフルエンザウイルスC	1件	0件	0件
インフルエンザウイルス(解析中)	1件	0件	1件
パラインフルエンザウイルス2型	1件	0件	0件
パラインフルエンザウイルス3型	0件	2件	0件
RSウイルス	2件	0件	2件
アデノウイルス	0件	0件	1件
ヒトメタニューモウイルス	1件	3件	0件

[伝染性紅斑]

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19を病原体とし、4～5歳の幼児を中心に幼児、学童に好発する流行性の発疹性疾患である。患者報告数は例年夏季に増加し、また妊婦が感染すると胎児水腫や流産の可能性があり、県内でも大崎、栗原、石巻管内で警報値を超えていることから注意が必要である。

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群 (%)											総数 (人)
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	
2014年 第19週	21.3	20.6	25.2	5.2	4.5	7.1	5.8	3.2	3.9	1.9	1.3	155
第20週	14.6	29.1	23.3	7.8	4.9	6.8	3.9	3.9	4.9	1.0	0.0	103
第21週	2.1	29.8	23.4	4.3	6.4	10.6	4.3	10.6	6.4	0.0	2.1	47
第22週	11.4	54.3	22.9	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	35

## インフルエンザ定点

インフルエンザ定点とは、小児科定点と内科定点を合わせたもので、県全体で93定点(県:51、仙台市:42)となっています。

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第20週) (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(8.05)、山形県(4.25)、長野県(2.08)である。16都道府県から報告があり、年齢別では1～9歳(15例)、30代(1例)、40代(1例)、50代(2例)、60代(6例)、70代(6例)、80歳以上(5例)であった。RSウイルス感染症: 報告数は299例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約84%を占めている。咽頭結膜熱: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は富山県(1.76)、鹿児島県(1.65)、宮崎県(1.19)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は愛媛県(15.62)、福井県(15.59)、大分県(13.81)である。水痘: 定点当たり報告数は第17週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は福井県(2.73)、新潟県(2.70)、福岡県(2.23)である。マイコプラズマ肺炎: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(2.00)、高知県(1.13)、青森県(1.00)、長野県(1.00)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る): 定点当たり報告数は増加した。43都道府県から314例報告があり、年齢別では0歳(38例)、1～4歳(224例)、5～9歳(43例)、10代(4例)、30代(2例)、40代(1例)、60代(1例)、70歳以上(1例)であった。

※ 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数